



2024年6月19日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマト
代表者名 代表取締役社長執行役員 町田 豊
(コード番号：1967 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 藤井政宏
(TEL 027-290-1800)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備の解消に関するお知らせ

当社は、2024年3月期末日における財務報告に係る内部統制が有効であることを確認いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、2023年6月19日付「財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、2023年3月期（以下「前連結会計年度」という。）において当社連結決算に使用する子会社の個別財務諸表の正確性を担保する内部統制の不備（「収益認識に関する会計基準」等の適用にあたり、連結決算手続の過程で一部の連結子会社の個別財務諸表を誤って修正したこと及び株式会社スズデンの会計処理の誤りを当社が連結決算手続の過程で識別したことによる連結決算作業の遅延）は、財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高いと判断し、開示すべき重要な不備として前連結会計年度末日における財務報告に係る内部統制は有効ではないことを開示いたしました。

当社は、当該事実を真摯に受け止め、財務報告の信頼性を確保すべく以下の再発防止策を講じて、その整備及び運用状況の改善を実施いたしました。

(1) 経理部内でのチェック体制の見直し

決算作業手順の見える化及び決算作業の属人化を排除するために、外部の専門家（公認会計士）を利用して決算チェックリストの拡充を図るとともに、当該チェックリストを用いた検証を多重的に実施することで、決算処理の誤りを防止しました。

なお、決算チェックリストは人的統制であることから、ケアレスミスを可能な限り防止するため、決算処理のIT化を進めてまいります。

(2) 経理人材の補強や会計的な知見の向上

当社及び株式会社スズデンにおいて決算開示の業務経験を有する経理人材の採用を行うとともに、当社経理部員による建設業経理に関する資格取得や外部セミナーへの参加

等を通じて会計的な知見の向上を図りました。

今後も継続的に経理人材の補強や会計的な知見の向上を行うことで、当社グループの財務報告の信頼性向上に努めてまいります。

以上の結果、当社取締役会において、前連結会計年度の開示すべき重要な不備は解消され、当連結会計年度末日における当社グループの財務報告に係る内部統制は有効であることを確認いたしましたので、その旨を記載した内部統制報告書を2024年6月19日付で関東財務局長に提出いたしました。

以上